集落営農から未来へ継承

はただかんのうかい　おおさかふみなみかわちぐんかなんちょう）

畑田寛農会（大阪府南河内郡河南町）

○畑田寛農会は、大阪府の東南部に位置し、大阪市内へは車で約４０分で行ける地域にある。

○活動開始以前は、施設の維持管理が中心であったが、２１年頃から各自農機具を持ち寄り、遊休農地の解消に取り組んできた。２５年度に寛弘寺地区営農協議会を立ち上げ、近畿農政局からの交付金を得て学校教育との連携事業（収穫体験・食育）も取り入れ活動を展開。２７年度から同交付金を活用し、継続的な維持管理と学校教育との連携事業を拡大している。

【地区概要】
- 取組面積12.4ha （田9.2ha、畑3.2ha）
- 資源量　開水路6.1km、農道1.5km
- 主な構成員　自治会、老人クラブ、水利組合、農業者
- 交付金　約34万円（H30）

活動開始前の状況や課題

○ 本地域は、水田を中心に営農が盛んな地域である。また、いちじくの産地でもあり全国にも出荷している。

○ しかし、後継者不足、遊休農地の発生予想など問題に直面するも、費用の捻出・営農者の確保が課題となる。

川の中にある揚水口

遊休農地になる恐れの農地

取組内容

○ 現役農家を中心に活動を行いながら、人出不足分を定年退職した非農家に営農指導を行い 一級農家に育成。

○ 遊休農地の未然防止策として、学校教育との連携事業に活用。（玉ねぎ、・じゃがいも・さつまいもの収穫、芋煮会の開催）

非農家による水路清掃

学校教育との連携による収穫体験

取組の効果

○ 水路の維持管理等にも非農家が参加するようになり、一人当たりの労力が低減。

○ 遊休農地の未然防止策で活用する農地（学校教育に使用）が初年度の20aから3年で80aに拡大。

○ 食育を通じて子供達に農空間の大切さを継承し、未来の農家を育成中‼

農家と幼稚園児とのふれあいの一コマ

農家と非農家の共同で水路清掃を実施

棚田保全による都市・農村交流の推進

しもあかさかじょうし　　みなみかわちぐんちはやあかさかむら
下赤阪城跡周辺棚田保全協議会（大阪府南河内郡千早赤阪村）

○ 本地域は、大阪府南東部の金剛山の中腹に位置し、室町時代に形成された棚田と豊かな自然が広がる歴史や文化に恵まれた地域である。

○ 平成11年に「日本の棚田百選」への選出を契機に「下赤阪棚田の会」を結成し、近郊の都市住民と連携した棚田保全活動等を実施。平成27年度に周辺地区を含めた活動組織を立ち上げ、多面的機能支払交付金を活用し、畦畔や耕作道の軽微な補修等営農環境の維持・改善を図る活動を実施。

○ 本取組を通じ、都市農村交流の促進が図られるとともに、棚田と周辺環境の適切な保全により棚田を活用した村を代表する観光イベントが毎年開催されるなど地域振興が図られている。

【地区概要】
・取組面積
　3.89ha（田3.06ha、畑0.83ha）
・資源量
　開水路1.8km、農道1.6km
・主な構成員
　農業者、村立中学校
・交付金　約11万円（H30）

活動開始前の状況や課題

○ 本地域は、大阪府南東部の金剛山の中腹に位置し、室町時代に形成された棚田が創り出す美しい景観を有する中山間地域である。

○ 千早赤阪村は過疎地域となり、人口減少や担い手不足、農業者の高齢化が進行し、棚田の維持管理が難しく耕作放棄地の増加が懸念される状況であった。

○ 平成11年に「日本の棚田百選」に選ばれたことを契機に棚田保全の機運が高まり、棚田の地権者による「下赤阪棚田の会」を結成。

下赤阪の棚田

取組内容

○ 平成27年度から、周辺地区も含めた活動組織を立ち上げ、多面的機能支払交付金を活用し、畦畔や耕作道の軽微な補修等の活動を行い、営農条件を維持・改善。

○ 大阪府の基金を活用した「棚田・ふるさとファンクラブ」と連携し、年7～8回、草刈りや泥上げ、不作付地を利用したコスモスの植栽等を実施。

畦畔補修

取組の効果

○ 棚田の保全活動に毎回多くの都市住民や大学生等のボランティアが参加するなど、都市農村交流の促進が図られている。

（毎年延べ300人以上が活動に参加。
多い時には1回の活動で80人が参加。）

○ 本取組により、棚田と周辺環境が適切に保全され、「早乙女による田植え」や「金剛山の里　棚田夢灯り&収穫祭」などの村を代表する観光イベントが継続的に開催され、地域振興が図られている。

（近年の「棚田夢灯り&収穫祭」の観光客：4,000人）

棚田保全活動

ジャガイモの収穫イベント

地域住民との連携による農空間保全

キシチクノウクウカンホゼンキョウギカイ　（トンダバヤシシ）
喜志地区農空間保全協議会（富田林市）

○大阪府富田林市の北部に位置し、市街化区域でもあり、土地改良区を中心に池や水路の保全管理を進めている。
○喜志地区農空間保全協議会は令和元年の設立である。
○学校と連携した地元小学生の農業体験のほか、遊休農地を活用した景観作物の植栽などによる農村環境保全活動を地域住民と取り組んでいる。

【地区概要】
・取組面積
　22.8ha（田16.6ha、畑6.2ha）
・農業用施設
　開水路20.7km、農道1.3km
　ため池11カ所
・主な構成員
　土地改良区、水利組合、実行組合、町会、小学校、農協等
・交付金　662千円（R1）

活動開始前の状況や課題

○大阪府富田林市の北部に位置し、稲作や軟弱野菜中心の生産を行っている。

○本地区は、特別に圃場整備を行うことなく先祖から受け継いだ農地の維持を行っているが、後継者不足が課題。

○地区内の農業施設で不具合、老朽化、施設の補修が必要である。

地域の活動

取組内容

○地元農家や自治会の協働による水路の泥上げや草刈りに加え、池の樋門改修、余水吐の改修、池の統廃合に取り組んでゆく。

○遊休農地を活用した景観作物の植栽などによる農村環境保全活動と地域住民との交流。

○近隣小学校の５年生による田植え、稲刈り体験の実施。

収穫体験

取組の効果

○地元農家と自治会の協働による水路の泥上げや草刈活動等により、営農環境が改善。

○学校教育と連携した農業体験は好評であり、延300名以上が参加し、農業に対する理解の増進や啓発につながる。

施設の勉強会

地域住民との連携による農空間保全

ながみね
長峰地域農空間保全協議会（堺市）

○長峰地区は、H15年度にほ場整備事業が完了し、土地改良区を中心に、農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、農業従事者の高齢化や後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
○H19年度に長峰地域農空間保全協議会が設立され、自治会や小学校等、地域住民と連携した地域資源の保全管理が図られている。

【地区概要】	
取組面積	59.58ha　[田46.76ha　畑12.82ha]
農業用施設	開水路16.1km　パイプライン3.8km 農道　7.7km　ため池　2箇所
主な構成員	土地改良区、小学校、自治会、農協支所支部長会
交付金	1,659千円

活動開始前の状況や課題

○ H13年度にほ場整備が完了し、営農組合による農作業受委託も活発に行われ、ブランド米「上神谷（にわだに）米」を代表とする稲作中心の営農が行われていたが、後継者や担い手の減少がすすみ、持続的な農地・農業用施設の管理が課題

○ ほ場整備の完了から約15年が経過し、一部施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題

取組内容

○ 草刈りや泥上げに加え、農道舗装の補修や水路の目地、ポンプ補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。

○ 地元小学校（上神谷小学校）との年間通じた農業体験等の交流活動や、周辺住民と共同して彼岸花の植栽等の農村環境保全活動にも積極的に取り組んでいる。

取組の効果

○ 土地改良区が中心となって、きめ細やかな施設の軽微な補修に取り組むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施。

○ 上神谷小学校各学年の農業体験や収穫祭を地域農家と地域住民の共同により年間通じて実施し、彼岸花等の景観作物の植栽等による農村環境保全活動にも取り組み、地域ぐるみの農空間保全が図られている。

都市住民との連携による農空間保全・適切な施設管理と農地中間管理事業を活用した担い手農家への農地集積

はちがみね
鉢ヶ峯地域農空間保全協議会（堺市）

○鉢ヶ峯地区では、土地改良区を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、農業従事者の高齢化や後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
○H19年度に鉢ヶ峯地域農空間保全協議会が設立され、関係自治会と土地改良区に加え、都市住民で構成されるボランティア組織「農作業応援団」等、地域住民・都市住民との連携による農地保全や計画的な施設の保全管理が進むとともに、H26年度からは農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積にも取り組み、交付金を活用した地域資源保全が図られている。

【地区概要】	
取組面積	28.43ha　[田16.78ha　畑11.56ha]
農業用施設	開水路8.2km　パイプライン2.3km 農道　5.0km　ため池　3箇所
主な構成員	自治会、土地改良区、農協、農作業応援団、水利組合
交付金	734千円

活動開始前の状況や課題

○ ほ場整備の完了後、営農組合が仲介役となって農作業受委託が行われる等、盛んに営農が行われていたが、後継者や担い手の減少が進み、持続的な農地・農業用施設の管理が課題

○ H4年度にほ場整備が完了し、一部施設で不具合が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題

取組内容

○ 溝さらえや草刈りに加え、農道の路面補修や水路附帯施設の補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。

○ 都市住民による「農作業応援団」を組織して一連の農作業を共同で行うとともに、案山子コンクール等のイベントや近隣幼稚園等の農業体験も行い、都市農村交流にも積極的に取り組んでいる。

取組の効果

○ 土地改良区が中心となってきめ細やかな施設の軽微な補修に取り組むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施。農地中間管理事業を活用した大規模農家への農地利用集積も進んでいる。

○ 農作業応援団との共同活動と、地元農家が行う農業体験イベントや摘み取り園、直売所運営が盛んに行われ、地域住民や都市住民との交流、理解促進が進んでいる。

地域住民との連携による農空間保全

とうききた
陶器北地域農空間保全協議会（堺市）

○陶器北地区は、H19年度にほ場整備事業が完了し、土地改良区を中心に、農地や水路、農道等の保全管理をすすめてきたが、近年、農業従事者の高齢化や後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
○H25年度に関係自治会(陶器北)と土地改良区、近隣小学校、JAにより陶器北地域農空間保全協議会が設立され地域住民と連携した地域資源の保全管理を図っている。

【地区概要】	
取組面積	32.34ha　[田31.01ha　畑1.33ha]
農業用施設	開水路19.6km　パイプライン0km 農道　26.4km　ため池　3箇所
主な構成員	自治会、土地改良区、農協、小学校
交付金	956千円

活動開始前の状況や課題

○ H19年度にほ場整備が完了し、地元農家による営農が行われていたが、一部で遊休農地が発生したり、後継者の不足、担い手の減少等、今後の持続的な農地・農業用施設の管理が課題

○ ほ場整備の完了から約10年が経過し、一部施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題

取組内容

○ 溝さらえや草刈りに加え、農道の路面補修や水路・会所枡の補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。

○ JAと連携し、地元小学校(東陶器小学校)の農業体験(田植え、稲刈り、新米を使った調理実習、しめ縄作り)等、交流活動による地域住民の理解促進に取り組んでいる。

取組の効果

○ 土地改良区が中心となって各集落の状況を集約し、きめ細やかな施設の軽微な補修に取り組むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施。

○ 東陶器小学校5年生約100名の農業体験を地域農家の指導により年間通じて実施し、子どもの地域農業への理解促進、交流が進むとともに、遊休農地の発生防止にも寄与している。

大学と連携した地域ぐるみの農空間の保全活用

すえのさと
陶の里水系農空間保全協議会（堺市）

○陶の里水系農空間保全協議会の前進の陶の里水系協議会は、午池（うまいけ）の改修に伴う広場整備と維持管理を地域ぐるみで取り組むため、平成14年に関係自治会（上之、辻之）と土地改良区、水利組合により設立。
また、ワークショップをはじめとした地域づくりのコーディネートを同市に立地する大阪府立大学が担っている。
○これまで、農業者や自治会、土地改良区等との共同活動により農地や水路、農道等の地域資源の保全管理を進めてきたが、近年、施設の老朽化や後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
○平成26年度より協議会の中に新たに陶の里水系農空間保全協議会を設立し、多面的機能支払交付金を活用することで、地域資源の保全管理体制がより強化され、活動範囲もさらに広がっている。

【地区概要】

取組面積	14.92ha　[田10.16ha　畑4.76ha]
農業用施設	開水路4.7km　パイプライン0km 農道　0km　ため池　7箇所
主な構成員	自治会、土地改良区、農協、農作業応援団、水利組合
交付金	400千円

活動開始前の状況と課題

○協議会内に5つの活動グループを組織し、概ね月1回開催する事務局会議には大阪府立大学の教員も参画
○年に1回全体会議を開き、各グループの活動実績と今後の活動方針について意見・情報交換
○これまで、地域活性化と自主財源確保に向けた様々な取組を展開

施設の老朽化や後継者の減少により担い手の負担が増大！

活動グループ	これまでの主な活動内容
情報発信グループ	広報誌「陶の里便り」の発行（年4回）
“はな”と“みどり”の里づくりグループ	花壇や散策道の整備管理、陶の里巡りの実施
農業ファン倶楽部	農産物即売会、遊休農地活用（米栽培、ジャガイモオーナー制度）、市民農園の管理
ため池保安巡視班	ため池、水路の保全、巡視

取組内容

○平成26年度より創設された多面的機能支払交付金を活用するため、新たに“陶の里水系農空間保全協議会”を設立
○各グループと連絡・調整・協力し、施設の保全管理や補修とともに、様々な農村環境保全活動を実施。

水路の巡視点検やため池周辺の草刈状況

取組の効果

○これまでの活動資金は、おもに農産物即売会で得られた利益で賄っていたが、多面的機能支払交付金制度へ参加したことから活動資金が確保でき、施設の保全管理・補修などが計画的に実施できるようになった。
○年4回発行している季刊誌の印刷費用や会議費用などが確保でき、さらなる活動の範囲が広がった。

（左）地域住民との協働のため池清掃
（左下）即売会の状況
（右下）ため池に設置された花壇への植栽

地域住民・農事組合法人・NPO法人等との連携による農空間保全

こうのやま 神於山地区農空間保全協議会（岸和田市）

○神於山地区は、H14年度にほ場整備事業が完了し、土地改良区を中心に、農地や水路、農道等の保全管理をすすめてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
○H19年度に神於山地区農空間保全協議会が設立され、町会等、地域住民と連携した地域資源の保全管理が図られているとともに、NPO法人とも連携し、農村交流活動が行われている。

【地区概要】	
取組面積	55.75ha　[田9.25ha　畑46.50ha]
農業用施設	開水路2.9km　パイプライン14.0km 農道　9.9km　ため池　5箇所
主な構成員	町会、実行組合、水利組合、土地改良区、生き活き農業応援団、農協
交付金	1,207千円

活動開始前の状況や課題

○ H14年度にほ場整備が完了し、地元農家による営農が行われていたが、一部で遊休農地が発生したり、後継者の不足、担い手の減少等、今後の持続的な農地・農業用施設の管理が課題

○ 地区内の一部農業用施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題

取組内容

○ 溝さらえや草刈りに加え、農道の路面補修や水路附帯施設の補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。

○ コスモス園を開設し、農村環境保全活動に取り組むとともに、地区内で遊休農地を活用した営農および都市農村交流に取り組む農事組合法人と連携し、交流活動を行っている。

取組の効果

○ 土地改良区が中心となってきめ細やかな施設の軽微な補修に取り組むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施。
○ 景観作物の植栽等による農村環境保全活動による地域住民との交流が図られているとともに、新規就農者等、若手農家の参入も進んでおり、農事組合法人、NPO法人等多様な担い手の参画により、交付金を活用した農空間の保全が期待できる。

地域住民・久米田池をまもる会との連携による農空間保全

令和元年度新規地区

くめだいけ
久米田池地区農空間保全協議会（岸和田市）

○久米田池地区は、久米田池を水がめとし、全農地が市街化区域内に点在していることから、住宅地と共存しながら農業を営んできた。しかし、久米田池は「都市住民のオアシス」としての機能が重視され、農業用施設として生かしつつも、農地の減少が負担増となり、継続的な活動に支障が生じていた。
○令和元年度に久米田池地区農空間保全協議会を設立し、土地改良区、久米田池をまもる会、学校、自治会等が連携し、農空間の保全と維持管理を図っている。

【地区概要】	
取組面積	13.0ha　[田13.0ha　畑0.0ha]
農業用施設	久米田池
主な構成員	土地改良区 久米田池をまもる会（会員98団体）
交付金	390千円

活動開始前の状況や課題

○オアシス整備事業の完了後、ごみの不法投棄による環境汚染が進む中で、組合員の減少と高齢化は草刈りや清掃を困難なものとし、維持管理や自然環境の保全が課題。

○「ため池百選」 に選定、及び「世界かんがい施設遺産」の登録を契機に、土地改良区と久米田池をまもる会を中心に、新たな視点に立った環境づくりが課題。

取組内容

○久米田池の年2回のオアシスクリーンアップ大作戦や啓蒙活動に交付金を活用し、更なる住民意識の高揚を図る。

○久米田池全体の景観及び自然環境の保全活動として、大量のガマの花穂摘み取り作業や、遊歩道と西提公園の植栽活動に努める。

期待する取組の効果

○土地改良区を核として、久米田池を農業用施設として生かしつつ、都市と自然の共生する、また、水と緑に包まれた「都市のオアシス」としての環境づくりが進んでいる。

○久米田池周辺の景観を守り、　地域住民との交流活動や、新たな視点に立った環境づくりが期待できる。

地域住民との連携による農空間保全

うえだい
上代町農地・緑地を守る会（和泉市）

○以前より年に２回程度、農業者や自治会等との共同活動により水路等の溝浚えや草刈を行ってきたが、近年、施設の老朽化や後継者の減少により、継続的な活動に支障が生じていた。

○平成２７年度に、水利組合と実行組合、関係自治会、土地改良区で上代町農地・緑地を守る会を設立し地域住民と連携した地域資源の保全管理を図っている。

【地区概要】	
取組面積	10.27ha　[田7.49ha　畑2.78ha]
農業用施設	開水路 4.0km　パイプライン0km 農道 3.5km　ため池 2箇所
主な構成員	実行組合、水利組合、自治会、土地改良区役員
交付金	280千円

活動開始前の状況や課題

○ これまで、年2回程度の活動は地域住民と連携して行ってきたが、老朽化した施設の補修等は、農業者のみで行っており、後継者不足による持続的な農地・農業用施設の管理が課題。

○ 農業用施設の不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題。

取組内容

○ 溝さらえや草刈りに加え、農業用施設の補修や保守点検を交付金を活用して直営施工により実施し、施設の長寿命化を図っている。

○ JAが行う地元小学校（鶴山台北小学校）の農業体験（田植え、稲刈り、収穫米を用いた収穫祭）等に参加し、交流活動による地域住民の理解促進に取り組んでいる。

取組の効果

○ 直営施工で施設の軽微な補修に取り組むことにより、より効率的に交付金を活用して農業用施設が保全管理されている。

○ 鶴山台北小学校5年生約60名の農業体験を地域農家の指導により年間を通じて実施し、こどもの地域農業への理解促進、交流に寄与している。

地域住民との連携による農空間保全

いちのい
一之井水利グループ（和泉市）

○一之井地区では、毎年地元水利組合員にて農地や水路、農道等の保全管理をすすめてきたが、近年組合員の高齢化及び後継者不足により、負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。

○平成２７年度に、地元水利組合と関係自治会、土地改良区で一之井グループを設立し地域住民と連携した地域資源の保全管理を図っている。

【地区概要】	
取組面積	18.33ha　[田12.62ha　畑5.71ha]
農業用施設	開水路7.2km　パイプライン0km 農道　0.3km　ため池　0箇所
主な構成員	水利組合、自治会、土地改良区役員
交付金	492千円

活動開始前の状況や課題

○　以前より地元農家による営農が行われていたが、高齢化により担い手の減少、後継者不足等により今後の持続的な農地・農業用施設の管理が課題。

○　周辺の宅地が進んでいる地域もあり、住民の農地や施設への理解が進んでおらず、苦情等が増加している。

取組内容

○　溝さらえや草刈り等を、自治会等と共に行っている。

○　JAが行う地元小学校（北池田小学校）の農業体験（田植え、稲刈り、収穫米を用いた収穫祭、しめ縄作り）等に参加し、交流活動による地域住民の理解促進に取り組んでいる。

取組の効果

○　溝さらえや草刈り等を、自治会等と共に行うことにより、担い手の負担軽減及び地域住民との交流が図られ、農地や施設への理解が進む。

○　北池田小学校5年生約130名の農業体験を地域農家の指導により年間を通じて実施し、こどもの地域農業への理解促進、交流が進むとともに、遊休農地の発生防止にも寄与している。

地域住民との連携による農空間保全

あしべ
芦部地区農空間保全協議会（和泉市）

○芦部地区は、地元実行組合を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。

○平成２７年度に、地元実行組合と関係自治会、土地改良区で芦部地区農空間保全協議会を設立し地域住民と連携した地域資源の保全管理を図っている。

【地区概要】	
取組面積	5.58ha　[田4.79ha　畑0.79ha]
農業用施設	開水路 4.5km　パイプライン0km 農道 2.0km　ため池 0箇所
主な構成員	自治会、実行組合、土地改良区役員、老人会、子供見守り隊
交付金	159千円

活動開始前の状況や課題

○　一部施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題となっていた。

取組内容

○　溝さらえや草刈りに加え、ゲートの保守点検や補修等を交付金を活用して直営施工により実施し、施設の長寿命化を図っている。

○　地域住民との交流を図るため、水路沿いに共同でプランタ等に花を植え、地域の景観形成に寄与すると共に、交流活動に積極的に取り組んでいる。

取組の効果

○　直営施工で軽微な補修に取り組むことにより、不具合・老朽化に迅速な対応が出来、効率的に交付金を活用して農業用施設の保全管理が出来ている。

○　都市農村交流活動に積極的に取り組むことにより、地域住民の参画・理解が促進される。

地域住民との連携による農空間保全

かんのんじ
観音寺地区空間保全協議会（和泉市）

○観音寺地区では、地元水利組合を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。

○平成２７年度に、地元水利組合と関係自治会で観音寺地区農空間保全協議会を設立し地域住民と連携した地域資源の保全管理を図っている。

【地区概要】	
取組面積	13.27ha　[田5.08ha　畑8.19ha]
農業用施設	開水路 1.9km　パイプライン0km 農道 1.2km　ため池 6箇所
主な構成員	水利組合、自治会
交付金	316千円

活動開始前の状況や課題

○　一部施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題となっていた。

取組内容

○　溝さらえや草刈り等を、自治会等と共に行っている。

○　地域住民との交流を図るため、農地の一部に共同で花を植え、地域の景観形成に寄与すると共に、交流活動に積極的に取り組んでいる。

取組の効果

○　溝さらえや草刈り等を、自治会等と共に行うことにより、担い手の負担軽減及び地域住民との交流が図られ、農地や施設への理解が進む。

○　都市農村交流活動に積極的に取り組むことにより、地域住民の参画・理解が促進される。

地域住民との連携による農空間保全

黒石（くろいし）地区農空間保全協議会（和泉市）

○これまで、平成１３年度に設立された黒石地区ため池保全協議会において、自治会と水利組合でため池やその周辺の草刈りや清掃活動を行ってきた。

○多面的機能支払交付金を活用するため、平成２７年度に新たに黒石地区農空間保全協議会を設立し、黒石地区の地域資源の適切な保全管理と健全な農空間が継続して育むことが出来るようになった。

【地区概要】	
取組面積	13.35ha　[田10.62ha　畑2.78ha]
農業用施設	開水路7.8km　パイプライン0km 農道　0.4km　ため池　6箇所
主な構成員	自治会、水利組合
交付金	373千円

活動開始前の状況や課題

○　年1～2回のため池やその周辺の清掃活動を行っていたが、施設の点検等を十分には行えていなかった。

○　一部施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題となっていた。

取組内容

○　交付金を活用し、景観形成のための施設への植栽活動を行い、自治会との交流活動を行っている。

○　ため池、水路等の施設の点検を実施し、不具合・老朽化のある施設の長寿命化を図っている。

取組の効果

○　景観作物の植栽等による農村環境保全活動による地域住民との交流がより一層図られ、農空間の保全に期待が出来る。

○　交付金で施設の軽微な補修に取り組むことが出来るようになり、計画的に農業用施設の保全管理を実施出来る。

地域住民との連携による農空間保全

よこやま
横山地区農空間保全協議会（和泉市）

○横山地区は、平成１９年度に横山土地改良区が設立され、土地改良区を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。

○多面的機能支払交付金を活用するため、平成２７年度に新たに横山地区農空間保全協議会を設立し、横山地区の地域資源の適切な保全管理と健全な農空間が継続して育むことが出来るようになった。

【地区概要】	
取組面積	36.80ha　[田0.00ha　畑36.80ha]
農業用施設	開水路 12.5km　パイプライン12.1km 農道 11.5km　ため池 10箇所
主な構成員	土地改良区、小学校
交付金	736千円

活動開始前の状況や課題

○ 地元農家による営農が行われていたが、後継者の不足、担い手の減少等、今後の持続的な農地・農業用施設の管理が課題。

○ 整備完了後から約10数年が経過し、一部施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題。

取組内容

○ 協議会内にある4つの農業団地毎を基本として活動を行うが、各団地と連絡・調整・協力し、施設の保全管理や補修とともに様々な農村環境保全活動を実施。

○ 横山小学校と連携し、農業団地で生産されている「いちご」ハウスでの農業体験を行い、地域との交流活動にも取り組んでいる。

取組の効果

○ 土地改良区が中心となって、きめ細やかな施設の軽微な補修に取り組むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施。

○ 横山小学校の小学生による農業体験を実施することにより、地域の農産物にふれることで、こどもの地域農業への理解促進に寄与している。

地域住民との連携による農空間保全

ぶつなみ地区農空間保全協議会（和泉市）

○仏並地区は、平成１７年に仏並土地改良区が設立され、土地改良区を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。

○多面的機能支払交付金を活用するため、平成２７年度に新たにぶつなみ地区農空間保全協議会を設立し、仏並地区の地域資源の適切な保全管理と健全な農空間が継続して育むことが出来るようになった。

【地区概要】	
取組面積	5.53ha　[田0.00ha　畑5.53ha]
農業用施設	開水路 2.7km　パイプライン 0km 農道 0.9km　ため池 2箇所
主な構成員	土地改良区、水利組合
交付金	110千円

活動開始前の状況や課題

○ 地元農家による営農が行われていたが、後継者の不足、担い手の減少等、今後の持続的な農地・農業用施設の管理が課題。

○ 整備完了後から約10年が経過し、一部施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題。

取組内容

○ 溝さらえや草刈りに加え、ポンプ等の施設の補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。

○ 地元保育園（きのみ保育園）の農業体験（野菜の苗植え、収穫）等、交流活動による地域住民の理解促進に取り組んでいる。

取組の効果

○ 土地改良区が中心となって、きめ細やかな施設の軽微な補修に取り組むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施。

○ きのみ保育園の園児による農業体験を地域農家の指導により実施し、こどもの地域農業への理解促進、交流に寄与している。

地域住民との連携による農空間保全　都市的地域

かるべいけ
軽部池地区農空間保全協議会（和泉市）

○本地区は、豊富な貯水量を有する軽部池を水源とした稲作地帯であるとともに、裏作として玉ねぎなどの畑作も盛んにおこなわれている。しかしながら、近年営農者の高齢化や後継者不足が課題となっている。

○平成３０年度に、地元自治会と土地改良区で軽部池地区農空間保全協議会を設立し地域住民と連携した地域資源の保全管理を図っている。

【地区概要】	
取組面積	17.41ha　[田　16.41ha　畑　1.00ha]
農業用施設	開水路1.2km 農道　1.6km　ため池　1箇所
主な構成員	小田町会、和泉市軽部池土地改良区
交付金	512千円

活動開始前の状況や課題

○　農道等の一部施設で不具合・老朽化が生じているため、施設の軽微な補修が必要な状況であった。

取組内容

○農業用ため池、水路及び農道の草刈や泥上げなどの保全活動

○軽微な補修を必要とする農道についての軽微な補修

○地域住民との協働による植栽

取組の効果

○草刈や泥上げなどの活動による施設の適切な保全・維持管理

○老朽化した施設の軽微な補修による保全管理

○植栽を通じた地域交流・農村環境保全活動にも取り組み、地域ぐるみの農空間保全が図られている

地域住民・NPO法人・新規就農者等　多様な担い手による農空間保全

こつみ
木積地区農空間保全協議会（貝塚市）

○木積地区は、ほ場整備事業完了以降、土地改良区を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
○H19年度に木積地区農空間保全協議会が設立され、自治会や小学校等、地域住民と連携した地域資源の保全管理を進めるとともに、農地中間管理事業も活用し、新規就農者や企業等への農地集積にも積極的に取り組み、多様な担い手による地域資源保全が図られている。

【地区概要】	
取組面積	28.05ha　[田8.88ha　畑19.17ha]
農業用施設	開水路 3.0km　パイプライン 3.3km 農道 3.6km　ため池 2箇所
主な構成員	自治会、水利組合、土地改良区、農協、小学校
交付金	649千円

活動開始前の状況や課題

○ H13年度にほ場整備が完了したが一部で遊休農地が発生したり、後継者・担い手の減少等、今後の持続的な農地・農業用施設管理や営農環境の悪化が懸念されていた

○ 一部施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題となっていた

取組内容

○ 溝さらえや草刈りに加え、ため池法面の補修や水路・附帯施設の保守点検や補修等を交付金を活用して直営施工により実施し、施設の長寿命化を図っている。
○ 地元小学校（葛城小学校）の体験学習やNPO法人と連携した都市住民向けの農業体験、コスモス、菜の花等景観作物の植栽等、農村環境保全活動や交流活動に積極的に取り組んでいる。

取組の効果

○ 構成員の直営施工で施設の軽微な補修に取り組むことにより、より効率的に交付金を活用して農業用施設が保全管理されている。
○ 農村環境保全活動や都市農村交流活動に積極的に取り組むことにより地域住民・都市住民の参画・理解が促進されている。
○ 農地中間管理事業も活用し、新規就農者等の若手農家や企業、NPO法人等が地区に参入し、多様な担い手による農空間保全が図られている。

地域住民との連携による農空間保全

なごせ 名越地区農空間保全協議会（貝塚市）

○名越地区は、水利組合を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
○H27年度に名越地区農空間保全協議会が設立され、多面的機能支払交付金の取り組みにより、自治会等、地域住民と連携した地域資源の保全管理が図られている。

【地区概要】	
取組面積	9.82ha　[田9.50ha　畑0.32ha]
農業用施設	開水路 1.7km　パイプライン 1.6km 農道 0km　ため池 3箇所
主な構成員	水利組合、実行組合、自治会
交付金	291千円

活動開始前の状況や課題

○ 農業従事者の高齢化や後継者の減少により、一部で遊休農地が発生したり、今後の持続的な農地・農業用施設管理や営農環境の悪化が懸念されていた。

○ 農業用施設の不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題となっていた。

取組内容

○ 水路清掃活動や草刈りに加え、ため池附帯施設の補修や防草シート張り等を交付金を活用して実施し、維持管理の軽減および施設の長寿命化を図っている。

○ れんげやコスモス等景観作物の植栽による地域住民との交流活動に取り組んでいる。

取組の効果

○ 交付金を活用してきめ細やかな施設の軽微な補修に取り組むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施されている。

○ れんげやコスモス等の景観作物の植栽等による農村環境保全活動にも取り組み、地域ぐるみの農空間保全が図られている。

地域住民との連携による農空間保全

せちご 清児地区農空間保全協議会（貝塚市）

○清児地区は、水利組合を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
○H27年度に清児地区農空間保全協議会が設立され、多面的機能支払交付金の取り組みにより、自治会等、地域住民と連携した地域資源の保全管理が図られている。

【地区概要】	
取組面積	17.69ha [田15.7ha 畑1.97ha]
農業用施設	開水路 3.6km パイプライン 0km 農道 4km ため池 3箇所
主な構成員	水利組合、実行組合、自治会
交付金	511千円

活動開始前の状況や課題

○ 農業従事者の高齢化や後継者の減少により、一部で遊休農地が発生したり、今後の持続的な農地・農業用施設管理が懸念されていた。

○ 集落内で不法投棄が発生する等、景観や生活環境の悪化が問題となっていた。

取組内容

○ 地域ぐるみの水路清掃活動や草刈りを交付金を活用して実施している。

○ 遊休化が懸念される農地でジャガイモ栽培やコスモス植栽を行い、地域住民を対象とした収穫体験や花摘み会を開催する等、地域住民との交流活動に積極的に取り組んでいる。

取組の効果

○ 交付金を活用した活動で地域共同活動がさらに盛んになったことで、営農意欲や遊休農地発生防止の機運が高まりつつある。
○ ジャガイモ掘り体験やコスモスの花摘み会等の交流活動への地域住民の関心や期待は大きく、多数の参加があることで協議会メンバーの励みにもなり、地域ぐるみの農空間保全が図られている。